

2026 年度
多文化コミュニケーション学科
総合型選抜入試課題

次の課題 A～Cから1つを選び、800 字以内で述べてください。

注意事項

○手書きの場合

指定された「課題レポート記入用紙」に記入してください。

○パソコンで作成する場合

Windows で扱える文書ファイル (Word 等) で作成し、A 4 縦用紙に横書きする。ただし、行・文字数、間隔等の指定は特にありません。

※希望学科、選択した記号 (A～C)、氏名の記入を忘れないでください

課題 A

「260年ぶり」入港で歓迎セレモニー「朝鮮通信使」復元船が壱岐・勝本港に

江戸時代まで朝鮮王朝が日本に送っていた外交使節「朝鮮通信使」の船を韓国で復元した木造船が9日、長崎県壱岐市の勝本港に入り「260年ぶり」の寄港を歓迎するセレモニーが開かれた。

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の「世界の記憶」に登録されている朝鮮通信使は1811年まで日本を訪れ、壱岐へは1764年まで寄港した。復元船は韓国の国立海洋文化財研究所が建造。昨年、対馬市を訪れていた。今回は7月31日に釜山を出航して日本のゆかりの地を訪れており、対馬、壱岐、福岡県の相島を経て8月21日に下関に入港予定。

9日の入港セレモニーで篠原一生市長は「壱岐は日本と大陸の中間に位置し、古代より海上交通の要所として栄えてきた。260年ぶりの朝鮮通信使の皆さまを歓迎する」とあいさつ。釜山文化財団の李美蓮代表理事は「壱岐市と朝鮮通信使を媒介とした多様な交流が拡大することを期待する」と述べた。

歓迎式では入港パレードのほか、勝本町の壱州荒海太鼓・風舞組の和太鼓演奏や記念品の贈呈があった。市の参加者約60人は船内に招かれ、釜山芸術団による伝統楽器演奏や踊りが披露された。16日まで停泊している。

【2024年8月12日 長崎新聞（インターネット版）より引用】

問題

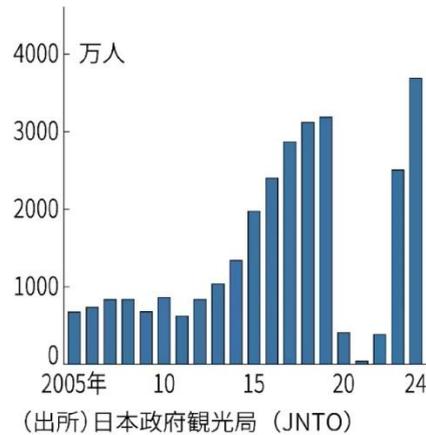
上の記事を読み、『「世界の記憶」に登録されている「朝鮮通信使」』を通じた国際交流の未来について、あなたの考えを800字以内で述べてください。

課題 B

オーバーツーリズムとは 観光客増え、住民に負の影響

オーバーツーリズムとは、観光客が地域の受け入れのキャパシティーを超えて来訪し悪影響を及ぼすことで、観光公害とも訳される。国連世界観光機関は「観光地やそこに暮らす住民の生活の質、旅行者の体験の質に観光が過度に与える負の影響」と定義する。インバウンド（訪日外国人）の急増により、国内各地で混雑やマナー違反といった問題が起きている。

訪日客はコロナ前を上回った



京都市では市営バスが訪日客で混雑し、住民が乗車できない事態が生じた。24年に主要観光地だけ停車する「観光特急バス」の運行を始め、運賃を通常の倍以上に設定した。北海道美瑛町ではマナー悪化を理由に人気スポットのシラカバ並木が伐採された。SNSで話題になったスポットに観光客が殺到するケースもある。

受け入れ数を抑制する場合もある。世界遺産の姫路城（兵庫県姫路市）は2026年3月から市民以外の入場料を高くする「二重価格」の導入に踏み切る。スペインのバルセロナやイタリアのベネチア、カプリ島といった人気観光地でも問題化し、一部で住民によるデモに発展した。日本政府も自治体によるマナー啓発など持続可能な観光の推進に補助金を出して対策を後押ししている。

【2025年5月4日 日本経済新聞より引用】

問題

上の記事を読み、オーバーツーリズム問題を解決するための持続可能な観光施策について、あなたの考えを800字以内で述べてください。

課題 C

AI 時代における言語と語学教育

AI 技術の進化により、翻訳・通訳機能は大きく向上し、「語学学習は不要なのか？」という議論が生まれています。しかし、言葉は単なる情報伝達だけでなく、文化理解や思考力を育む重要な要素です。AI が支援する新たな学習スタイルが必要なのか、それとも語学教育自体が変革を迎えるのか。本記事ではそれらの課題について考察します。

- AI 機能を使った翻訳技術は驚くほど進歩し、「今後、語学の学習は不要になるのではないか？」と考える方も多い
- AI 翻訳は情報伝達のツールとして高い水準にあります。でも言葉の機能はそうしたもののだけではありません。
- 近年、人工知能 (AI) 技術の急速な発展により、教育分野、特に語学学習の分野で革新的な変化が起きています。
- AI とデジタル技術を最大限に活用した英語教育システムを提供

科学技術の進化は社会に大きな変革をもたらし、特に AI の進展は言語の壁を越える手段に革新をもたらしています。近年、AI による翻訳・通訳技術は飛躍的に向上し、リアルタイムで自然な会話が可能なシステムが登場しました。その結果、「英語を学ぶ必要はあるのか？」あるいは「外国語学習は不要になるのでは？」といった議論が広がっています。

しかし、言語学習の価値が完全に消失するかどうかは慎重に考える必要があります。AI の精度が向上しても、文化的背景や微妙なニュアンスの理解、人間同士の深い交流、特に外交やビジネス交渉の場面では、単なる翻訳機能では補えない重要な要素が残ります。また言語を学ぶことで培われる思考力やコミュニケーションの柔軟性は、AI によって代替されるのではなく、人間の重要な能力として存続し続けるでしょう。

今後、AI 等の科学技術の進化によって言語コミュニケーションの形はさらに変化していくでしょう。新しい教育プログラムも登場しており、語学学習の在り方も再考されつつあります。それらの視点・観点や知見・経験も踏まえて、今後語学教育を存続・継続改変なども含めてどうしていくのかを考えていく必要があるでしょう。

【2025年6月15日 YAHOO! JAPAN ニュースより引用】

問題

上の記事を読み、AI 時代における言語学習や異文化コミュニケーションの意義について、あなたの考えを 800 字以内で述べてください。

